

Contents

- 巻頭言 今、自分にできること
- Topic 令和元年度 福井CST地域支援拠点(小学校)が決定しました

- Pick Up! 第22回福井CST合同研修会(第18回福井CST公開セミナー)を開催しました
学校インターンシップ
- 受講者だより『CSTとして活かせること』
- お知らせ 『第1回福井CMTシンポジウム』
開催のご案内 ほか

巻頭言 今、自分にできること

私には、毎年楽しみにしている便りがある。元日に届くお世話になった先生からの年賀状である。言葉のコメントはないが、様々な表情をした白山の風景の写真が送られてくる。おそらく、白山の美しい風景に魅了され、しばしば登り、その時の感動を年賀状に込めて送ってくださるのであろう。年賀状からは先生の新年への願いが伝わってくる。

先生には、今から25年前、福井市の研究授業をする際、お世話になった。苦手な地学分野での取り組みで、経験も浅く、どのような授業にしたらいいか悩んでいた際、前任校でご一緒した縁で、授業についてご指導いただいた。「岩石の薄片標本」、「火成岩の溶解」、「ボーリング標本を利用した地域の地層推察」など、教材について一つ一つ教えていただいた。そのおかげで、何とか研究授業を終えることができ、それ以来、野外観察や実習へ参加することが楽しいと感じるようになった。教職を離れた現在も、地層の観察をはじめ、理科に関わるあらゆることで後輩に指導、支援してられる。

今回この巻頭言を依頼された際、すぐに先生のことが思い出された。

理科の教員になり30年近く経とうとしているが、今、自

福井大学教育学部附属義務教育学校 後期課程
副校長 永廣 裕子

分に何ができるのか。授業をする機会も少なくなり、私にできることは限られている。これまでいろいろな方から教わったこと、学んだことを後輩に伝えることが使命であるとする。とはいうものの、何かをしようとした際、一人ではなかなか動き出すことのできない私にとって、福井CST養成・支援事業はありがたい存在である。

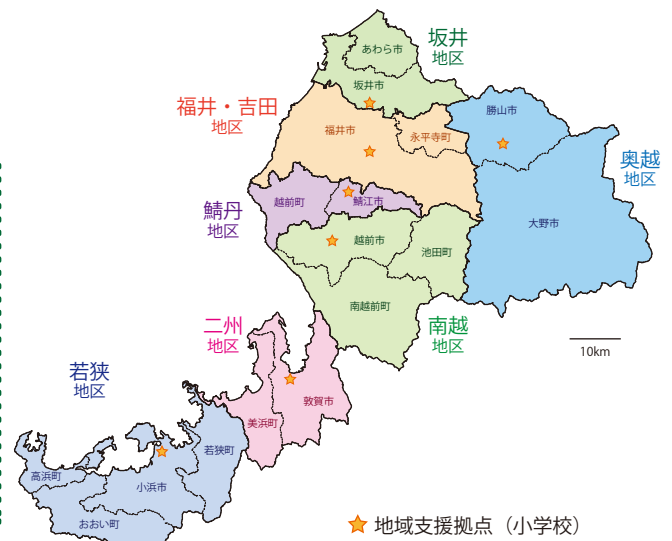
CST研修会やフォーラムなどに参加し、世代を超えた仲間と語り合う。時には、授業力向上のための研修会や観察会を自ら企画・運営したい。天体を観測したり、山に登り高山植物を観察したりするのもよい。夏には蛍を観たり、授業の教材をともに探したりするのもよい。普段は訪れることのできない博物館や資料館に行こうと呼びかけてもいいかもしれない。一人ではなかなか踏み出せないことも、同じ目的を持ち理科に関心のある仲間となら、苦手なことでもやってみようという気持ちになる。また、驚きや感動とともに味わうことで学びもさらに大きくなる。これは、きっと大人も子どもも同じであろう。今後、様々な立場の教員と集い、関わりあい、ネットワークを広げていきたい。また、後輩と理科教育について語りあい、好奇心、感性、感動する心を磨き、学び続ける姿勢を持ち続けていきたい。

Topic 令和元年度 福井CST地域支援拠点(小学校)が決定しました

地域支援拠点(小学校)では、CSTが実施する実験講習会や研修会などが、既に開催されており、また各拠点での今後の実施も予定されています。ご期待ください。

令和元年度～令和3年度 地域支援拠点(小学校) 一覧

地域	小学校	福井大学担当教員
坂井地区	坂井市立磯部小学校	西沢 徹(生物学)
福井・吉田地区	福井市和田小学校	大山 利夫(生物学) 山田 吉英(理科教育学)
奥越地区	勝山市立成器南小学校	三好 雅也(地学)
鯖丹地区	鯖江市鳥羽小学校	栗原 一嘉(物理学) 保科 英人(生物学)
南越地区	越前市吉野小学校	三浦 麻(環境科学)
二州地区	敦賀市立松原小学校	浅原 雅浩(化学)
若狭地区	小浜市立西津小学校	小林 和雄(教職大学院)



第22回福井CST合同研修会(第18回福井CST公開セミナー)を開催しました

「パプアニューギニアでの理数科教員経験から考えてきたことー我が国の理数科教育協力、理科と数学の関連付け、STEM教育ー」

福井大学大学院 福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科(連合教職大学院) 高阪 将人 講師

パプアニューギニアの学校で理科と数学を教えた経験や、アフリカにおける理数科教育研究の成果から、社会における教育の役割や、STEM教育について話をさせて頂きました。パプアニューギニアでは、村の発展に貢献することを目指し、森の中で自給自足しながら学校に通う子どもや、学校に通わず生きていくことを決意した子どもに出会い、社会における教育の役割について考えさせられました。また、多くの開発途上国ではSTEM教育を通じた経済発展が目指されており、そこでは育成を目指す資質・能力と教科統合の度合いについて考える必要があります。これらの内容を通して、理科教育の在り方について話題を提供させて頂きました。



内容

● ワンポイントセミナー

「パプアニューギニアでの理数科教員経験から考えてきたことー我が国の理数科教育協力、理科と数学の関連付け、STEM教育ー」

福井大学大学院 福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科 高阪 将人 講師

「変わる自分を楽しむ授業づくり」

～SSTA全国特別研修より～

上級 CST 菅原 英淑 (福井市和田小学校 教諭)

● CST 報告

「3年目を迎えて感じる理科教師間の協働の大切さ」

初級 CST 廣瀬 俊則 (福井市至民中学校 教諭)

● 受講者報告(卒業論文の紹介)

「フェニル、ナフチルまたはアントリル基の置換したナフタレン系有機色素の合成とその化学発光」

中級 CST 補 谷口 裕樹 (大学院1年)

● 新メンバー紹介と諸連絡、情報交流会

学校インターンシップ

福井大学教育学部附属義務教育学校 後期課程 受入担当者コメント

生徒の「なぜ？」を引き出し、それを解決するためにみんなで頭を突き合わせる。生徒一人ひとりが“脳みそに汗をかいている”状態を作り出すには、教員の徹底した教材研究だけでなく、あらゆる場面における生徒理解や、クラスの温かな雰囲気づくりが不可欠です。インターンシップの期間で、こちらも多くのことを学ばせてもらいました。

(上級 CST 受講者)

福井市中藤小学校 実習者コメント

授業実践では、課題の設定や実験の流れなど様々な反省点が挙がりました。一例としては、あらかじめ実験の観点を確認してから実験に取り組むことで、実験後の考察が行えたのではないかと反省し、次の実践に活かしたいと思いました。

(中級 CST 受講者)

受講者だより

CSTとして活かせること

● 理科野外講習会 勝山市内の野外観察会(地学分野) 技能研修講座A

2019.8.22 勝山市立成器南小学校

上級 CST 受講者

福井の海辺や九頭竜川の河原に存在する石を集めて、岩石を区別する観点を学んだ。この経験を生かし、岩石の特徴に注目できるようなしかけを作っていきたい。

講義の最後に、中学1年の大地の変化の中で、マグマのねばりけの違いが、激しい噴火やおだやかな噴火の違いにつながる出前授業をしていただけたことが分かった。

● フクイラトルとその仲間たち 先端科学技術セミナー

2019.7.14 福井県恐竜博物館

初級 CST 受講者

進化や化石について学ぶ単元で、福井県から発掘された化石としてフクイラトルを紹介することができる。化石を研究すると、何が明らかにされるのかを取り上げたい。

また、恐竜博物館は小学校の遠足や校外学習で訪れることも多い。博物館の展示や講義で、生物の進化に興味を持たせることができると考える。

お知らせ

第1回福井CMTシンポジウム (第19回CST公開セミナー)

参加費無料
当日参加もOK

日時 2019年12月14日(土) 13:20～17:00(予定)

会場 福井大学 総合研究棟1 13階 (文京キャンパス)

内容 ○研究報告・パネルディスカッション：CMT養成プログラムの開発(福井大学版、琉球大学版)

○ポスター・ワークショップ発表：CST、理科および算数・数学教育に関するもの

是非、CST及び理科の発表・参加をお願いします。

事前参加申込はWebにて (PC・スマートフォン対応)

URL <https://cst-cmt.net/>

発表の 2019年 情報交換会(要参加費)へ参加を希望される
事前締切 11月11日(月) 方は、事前申込をお願いします。

講座情報

10/25 『天文教室 秋の星座めぐり』 実技 (福井県自然保護センター)

12/21 『太陽が欠ける!部分日食を知ろう』 講義 (福井市自然史博物館)

3/8 『地球の歴史を調べよう』 実技 (福井県立恐竜博物館)

理科教育研究Cポイント取得機会(例)

各関係HPをご確認ください

・科学研究費(奨励研究) CST締切:令和元年10月24日(木)

・下中科学研究助成金 CST締切:令和元年11月20日(水)

CST News Report No.25 2019.9.30発行

編集・発行・印刷 福井大学 CST企画運営事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎ 0776-27-9928

✉ cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp 🌐 <https://www.cst-fukui.net/>